

函館の高等学校教育のあり方検討協議会における「函館の高等学校教育のあり方」についての意見等について

1 「函館市の将来，まちづくりの視点からのアプローチ」の必要性

- ・地域の人口減少対策やまちづくりの視点の中で，教育のあり方を検討していくべきである。
- ・教育は，地域社会の未来を見据えてデザインされるべきである。
- ・「函館で育ち，函館で職を持てるまちづくり」が推進できるような教育を創造していくべきである。
- ・「今後の函館の子どもたちにどのような教育をしていくべきか」を真剣に考えていく必要がある。
- ・地元の教育を受け，進学後，戻って地域貢献できる人材や地元の高等教育を受け函館の魅力を感じ就職する人材など函館のまちづくりの観点においても重要な意味を持つ。

2 地域課題意識を含めた系統的な「キャリア教育の充実」の必要性

- ・アクティブ・ラーニング（AL）は，課題発見・解決力を育てるために重要であるとともに，言語活動の充実による魅力的な人材を育成する基本となる。
- ・高等教育だけの問題として捉えるのではなく，系統的な「キャリア教育の充実」を検討していくべきである。
- ・卒業後の進路を踏まえた教育のあり方として，学校と地域が連動する「キャリア教育の充実」は重要な視点である。

3 高等教育機関自給率を高めるとともに，地域人材を育てる「高等教育機関との連携」の必要性

- ・函館市の高等教育進学率，高等教育機関自給率（※）を把握し，今後，高等教育機関との連携等を含め，様々な検討を行っていくことが重要である。

※高等教育機関自給率・・・函館市内の高等学校の卒業者が地元の大学に進学した割合

函館の高等教育機関への進学率（過去2ヶ年）

※高等学校教育のあり方検討協議会資料より

区 分		定 員	平成 26年	27年
大 学	北海道大学水産学部	215	0	2
	北海道教育大学函館校	285	32	28
	公立はこだて未来大学	240	32	35
	函館大学	120	31	29
	小計 ①	860	95 (11.0%)	94 (10.9%)
短 大	函館短期大学	220	72	90
	函館大谷短期大学	120	64	75
	小計 ②	330	137 (41.5%)	164 (49.7%)
(参考) 定員人数自給率		1190	(19.5%)	(21.7%)
高 等 機 関 自給率	大学等進学者数(※)	人	997 ※1	1057
	進学者数(市内)①+②	人	232	258
	自給率	%	23.3	24.4

＜参考資料＞

高等看護進学者数	160	110	130 ⇒ ③
(市看 函看 厚生院)	※1+③	1107	1187
	①+②+③	342	388
※高等機関自給率		<u>30.9%</u>	<u>32.7%</u>

(参考) ※大学進学者数内訳

男	467	男	516
女	530	女	541